

## リバーアドベンチャーキャンプ②

- 開催日 2019年8月5日（月）～ 8月7日（水）
- 会場 篠沢大滝キャンプ場（山梨県北杜市）
- ディレクター名 安齋 朱里（あんでいー）

### ■キャンプのねらい

- 自然の魅力を満喫する  
→川遊びを通して、自然の中で遊ぶ楽しさを発見する
- チャレンジをする  
→生活面など、自分のことは自分でチャレンジをし、自信をつけて帰る

### ■同行スタッフ（キャンプネーム）

いちむー、たま、むらじ、あまえび、キャナダ、チャーリー、ぼっちゃん、やっち、よしず、よもち

### ■活動内容

<1日目>  
集合、キャンプ場到着  
川遊び①  
ナイトハイク

<2日目>  
朝の集い  
川遊び②③  
花火

<3日目>  
朝の集い  
片付け・掃除  
川遊び④  
キャンプ場出発、解散



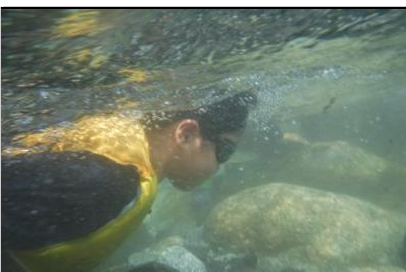
遊ぶ前には、しっかりと準備体操です。大きな声で元気一杯でした。



リバーアドベンチャーキャンプ、青空の下、初日の川遊びスタート！！



浅いところで水に慣れるところから始めました。



慣れてきたら、少し深いところで遊ぶ姿もありました。



班のみんなと夕食。すっかり仲良くなっていました。



ナイトハイクへ行きました。きれいな星に釘付けでした。



2日目。暑い夏にはピッタリの川遊び。水をかけあい遊びました。



「魚がいた！」と生き物を夢中で探す子どもたちもいました。



大人気のボディラフティング。上手に流れられるようになりました。





恒例の滝行！？全員が勇気を出して滝に入り、楽しみました。



最後の夜は花火をしました。初めての子も「きれい！」と喜びの声。



噴射花火に、「わあー！！」と子どもたちは大興奮でした。



食事の準備や片付けも自分たちで。友だちと話しながら楽しみました。



最終日もとことん川遊び！深いところにも慣れ、この笑顔。



流れが速いところでも楽しめるようになりました。



希望者は飛び込みにもチャレンジ。応援する声が飛び交いました。



3日間でたくましくなり、キラキラした表情を見ることができました。



解散するまで元気一杯の子どもたち。またキャンプで会いましょう！

## ■キャンプのエピソード

### 遊びを通してチャレンジ！

ポディラフティングをする友だちをじっと見ていたAちゃん。「やってみる？」と声をかけると、「ちょっとこわい。」と答えました。川遊びはとても楽しいものですが、流れたり潜ったり飛び込んだり、その子にとっては勇気が必要なことも多々あります。Aちゃんに「一緒にやってみようか？」と聞き、まずはPFDで浮くところからAちゃんのペースでチャレンジし、その後上手に流れることができました。流れたときの表情は、とてもうれしそうでした。遊びを通して“やってみる”というチャレンジを重ね、“できた”という自信をもつことが子どもたちの成長に繋がります。Aちゃんは繰り返しポディラフティングにチャレンジをして、少し流れが速いところでも楽しそうに遊ぶようになりました。

### 時間はみんなで作ろう！

「もっと遊びたい！」と意欲が高い子どもが集まったこのキャンプ。「遊ぶ時間はみんなで作ろう。」と3日間、合言葉のように言っていました。みんなで片付けや川遊び準備の時間を決め、取りかかる子どもたち。日に日に片付けや準備をする時間が早くなっていきました。初日の川遊びの時間が終わると「もう帰るの？」と遊び足りない様子でした。「明日はもっと遊ぶ時間を作ろうね。」と話し、みんなの気持ちが段々とそろいました。テキパキ動き、最終日もたっぴりと川遊びをすることができました。“遊びたい”という気持ちと“やらなければいけないこと”を上手に切り替え、みんなで作る時間を作るキャンプでした。日常に戻ってもキャンプのことを思い出し、楽しい時間を自分で作って過ごしてほしいです。